

研究協力のおお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

内科学 教室

記

研究課題名：	肝炎ウイルス陽性者に対する電子カルテ上の警告の受診推奨効果についての検討
研究の目的：	近年新しい薬剤の開発に伴い、それまで難治性であったウイルス性肝炎に対する治療が大きく進歩しました。現在では、それらの治療を行うとほとんどの患者が治癒を目指せるようになっていきます。一方、ウイルス性肝炎が陽性にもかかわらず、治療に至っていない事が多数報告されており、その原因の一つとして、医療サイドが患者のウイルス性検査陽性である結果を認識できていない事が指摘されています。その為、当院ではウイルス性肝炎検査が陽性であれば、電子カルテ上に警告を出すシステム(拾い上げシステム)を導入しました。しかし、その効果に関しては不明です。今回、拾い上げシステムを導入する前と、導入した後のウイルス性肝炎陽性患者の消化器内科への紹介状況を比較し、そのシステムの効果を検討します。
研究の意義：	ウイルス性肝炎検査陽性患者さんは、治療により改善しますが、それらの患者さんが検査陽性にもかかわらず、専門家受診ができていない事が問題となっています。今回、拾い上げシステムによりそれらの患者さんがどれくらい受診につながったのかが明らかになれば、このシステムの効果が明らかとなり診療に関して有用と考えられます。
研究の対象：	以下の該当期間に大阪医科薬科大学病院にて診療を受けたウイルス性肝炎検査陽性患者さん

該当期間：	2017年4月1日 ~ 2027年8月31日
研究の方法：	ウイルス性肝炎検査陽性患者さんの診療情報を利用し、拾い上げシステムが導入する以前と、そのシステムの導入後におけるウイルス性肝炎検査陽性患者の臨床的背景、診療情報(消化器内科受診歴)、観察項目(採血項目、画像結果、病理結果)を比較します。本研究の評価項目として設定した検査・観察項目のデータのカテゴリーに従い、適切な統計解析を、統計ソフトを用いて比較解析します。それらの診療情報の保管は内科学 研究室にて行い、その保管責任者は内科学 朝井 章です。
研究期間：	研究実施許可日 ~ 2028年8月31日
<p>個人情報の利用目的、開示等の求めに応じる手続き：</p> <p>被験者の個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにします。また、当該被験者より、当該本人が識別される保有個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示いたします。</p>	
<p>個人情報の取り扱いに関する相談窓口：</p> <p>内科学 朝井 章 TEL:(072)683-1221 内線(56442)</p>	
<p>利益相反について：</p> <p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>	

研究者名：

研究責任者：	内科学	診療准教授	朝井 章
研究分担者：	中央検査部	助教	西川 知宏
	内科学	助教（准）	後 昂佑
	内科学	レジデント	大西 紗央莉

本研究で利用させていただく研究情報については、将来、別の研究に利用（二次利用）させていただく場合があります。その場合は、改めて研究倫理委員会へ申請の上で、研究を実施いたします。

対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学

担当者： 朝井 章

T E L： 072-683-1221（代表）

内 線： 56442